

第6回 地域コミュニティ・PTA部会 会議報告

日 時:令和7年9月30日(火)
午後6時30分～8時15分
場 所:川岸小学校 2階 ふれあい教室

1. 次 第

- 1.開会
- 2.PTA組織の検討について
- 3.その他
- 4.閉会

2. 概 要

(1) 配布資料について

- ・PTA組織図
- ・各専門部会の会議報告

(2) PTA組織の検討について

▶PTA新組織案の確認(前回からの変更点・検討事項)

- ・PTA組織は、今後どのような学年割や行事になったとしても、ある程度対応できる柔軟な組織にしておくべきである。
- ・専門委員会(教養・文化、安全・校外、厚生、学級・子育て)の 4 つで構成される案について、活動内容は概ね確定しているとの認識が示された。
- ・「たこやま市場」のような活動は、保護者が一生懸命やるのではなく、生徒が主体となって交渉や販売を行う形に転換することで、生徒の学びにつながるという意見が示された。この場合、金銭を扱うため、監督として先生や教養文化委員などの立ち合いが必要となる。
- ・PTA会費の金額や、役員の活動期限など、明確な目標を立てるべきであるという意見が出た。会費は活動内容と予算が決定すれば算出できる見込みである。
- ・活動内容は大きく増えていないため、現行と大きく変わらない可能性があり、現状会費は余っている。
- ・PTAは任意団体であるため、加入しない保護者への説得材料がないことや、「役員には就きたくないが、協力はしたい」という保護者が多い現状が報告された。
- ・役員としての作業的な負担を軽減し、子供を支えるというPTAの根幹的な部分は維持すべきである。
- ・小中学校が一緒になることで、これまで小学校で 1 回、中学校で 1 回必要だった役員経験が、9 年間で 1 回となる可能性がある。
- ・役員の選出は、仕事や家庭の都合などで役員活動が困難な切実な事情を持

つ人もいるため、役員として働くか、協力者として働くかという選択肢を設けることで、協力を得やすくなるのではないかという提案があった。

▶PTA 役員構成案

・会長:1名

・副会長:計6名 内訳は、各専門委員会の委員長4名が兼任。学校職員(副校长または校長)から1名、そして、次年度会長候補を1名選出する。次年度会長候補を事前に選出することで、現会長がやり残したことや、新しい会長がやりたいことを実現するための準備期間を確保できる。

・監査員:2名 初年度に限り、小・中のPTA会長が監査員となる案が提示された。

・会計:2名(学校職員1名、保護者1名)

・事務局:学校職員2名(教頭などが担当)

・地域代表:コミュニティスクールへの移行を考慮し、PTA役員ではない地域代表(地域との連携役)2名を組織図に含めることが提案された。

▶理事会構成について

・理事会のメンバーは、役員が決定した内容の判断を仰ぐ立場であり、役員とは別に、地区PTA会長や区長、育成会長などを入れることで、地域との連携を図るべきではないかという提案があった。

・ただし、育成会長や消防団長といった役職は、必ずしも会議に出席できるとは限らないという懸念も示された。出席の確実性から、地区長(区長)は必ず参加してもらう方が良いという意見があった。

3. 今後の検討事項

・役員の選出方法について、保護者間で揉めるケースもあるため、今後さらに検討が必要である。

・PTA会費の算出のため、各委員会の活動内容とそれに伴う予算を確定させる。

・地域コミュニティとの関わり方(協力内容、協力者の確保)について、活動内容を明確にする。

・同窓会活動の位置づけについて、PTA組織図に含めるか、独自で活動するかを検討する。

・早朝の児童の見守り問題に対し、学校、地域、PTAが連携した具体的な方策を引き続き検討する必要がある。

・地区の編成をどのように行うか(特に人数の多い三沢地区)について、集金方法の変更も含めて検討する。

4. 次回の日程について

令和7年11月4日(火)午後6時30分 開催予定

川岸小学校 2階 ふれあい教室